

## WS-1

### あなたのフィードバックは届いていますか？

#### —関係性から見直す教育実践—

---

日時：2026 年 6 月 5 日（金） 13：00 ～ 16：00

企画：吉田暁（新潟市民病院）、岡崎史子（新潟大学）、大戸敬之（鹿児島大学病院）、  
三好智子（京都大学）、芳野純（帝京平成大学）、船越拓（名古屋市立大学）

#### 対象

医療者教育に興味がある方、医療者教育に携わるすべての方。指導医と学習者の関係性に興味を持たれた方。

#### 概要

学習者にとって、指導者から受け取るフィードバックは臨床現場での成長を左右する重要な機会である。“伝え方”は大切であるが、そのフィードバックが前向きに受け入れられるかどうかは、伝え方だけでなく、指導者と学習者の関係性が大きく影響する。信頼があれば短いひと言でも学びにつながり、信頼が揺らいでいれば正しい助言でも届かない。つまり、教育の基盤にはスキル以上に「目の前の学習者との信頼関係」が必要なのである。本ワークショップでは、まず日常の指導場面をふり返り、「指導者としての自分と学習者の関係はどう育っているか？」をテーマにグループで対話を行う。そのうえで、Educational Alliance（以下 EA）という“関係性を見立てるレンズ”を紹介し、普段のフィードバックや指導を新たな視点で見直す<sup>1)</sup>。後半では、信頼関係がうまく築けなかった場面を取り上げ、EA の 3 要素と信頼構築のメカニズムを活用し、明日から実践できる改善策をデザインしたい。

#### 報告概略

##### 1. 参加者属性と傾向

当日は、医師、看護師、理学療法士、診療放射線技師、言語聴覚士、薬剤師など、多岐にわたる専門職 28 名が集った。それぞれの専門的視点から提供された洞察により、議論は極めて豊かなものになった。

##### 2. プログラムの内容とプロセス

ワークショップは、参加者自身の過去の実践を振り返る 2 段階のプロセスで構成した。

##### 前半：成功体験の概念化

「うまくいった教育実践」を振り返り、その成功要因を直感的に抽出した。その後、EA の概念を共有し、自身の体験を理論的視点から再解釈した。この作業を通じ、バラバラだった自身の経験が EA という文脈で整理され、実践の意味づけや概念化が促進された。

##### 後半：信頼性の深化と省察

「うまくいかなかった実践」に焦点を当てた。臨床家としての信頼性と、教育者としての信頼性という 2 つの軸で文献的知識を整理し、改めて自身の過去の実践を振り返った<sup>2)</sup>。さらに、EA に関する近年の研究知見を紹介し、EA は固定的ではなく、学習者との相互作用の中で形成・変化する動的なプロセスであることについて理解を深めた<sup>3)</sup>。グループ内での対話を通じて、過去の経験を省察的に意味づけ、

今後取るべき具体的改善策を導き出す構成とした。

### 3. アンケート結果と考察

事後アンケートは 24 名より回答があり、参加者から極めて高い満足度が示され、このワークショップが実践を加速させる実用的な機会となったことが伺えた。

職種間の壁を越えた対話により「見えない壁」の解消に向けた糸口が得られた点や、自身の教育実践が理論で裏付けられたことで自信につながった点などが挙げられた。

#### 【参加者の感想（一部抜粋）】

「職種を超えて教育の悩み、問題を考える仲間がいることを知り、さらけ出し合い、支え合う、貴重な機会をいただきました。」

「教育同盟という概念を初めて聞きましたが、グループワークを通じて自分の臨床教育における悩みが整理されました。」

「フィードバックについて悩むことがあったが、色々な職種の方の実践を聞き、話すことで新たな気づきをえられました。」

### 4. 総括

本ワークショップは、EA という理論を「学ぶ」だけではなく、EA をレンズとして自らの教育実践を省察し、理論的に再解釈するワークショップであった。成功体験の概念化と失敗体験の深掘りという対照的なアプローチを通じ、参加者は単なる知識の習得を超え、明日からの臨床現場で実践可能な「信頼に基づく EA の構築」という具体的な指針を得ることができた。多職種連携が求められる現代の医療現場において、本ワークショップの知見が組織の教育文化を前進させる一助となることを期待する。

### 引用文献

- 1) Telio S, Ajjawi R, Regehr G. The “educational alliance” as a framework for reconceptualizing feedback in medical education. *Acad Med*. 2015 May;90(5):609–14.
- 2) Telio S, Regehr G, Ajjawi R. Feedback and the educational alliance: examining credibility judgements and their consequences. *Med Educ*. 2016 Sept;50(9):933–42.
- 3) Yoshida S, Kawakami C, Imafuku R, Nomura O, Saiki T. Building bridges in the emergency room: educational alliances between junior residents and attending physicians. *Front Med (Lausanne)* [Internet]. 2025 Dec 16;12(1625760). Available from: <http://dx.doi.org/10.3389/fmed.2025.1625760>

## スケジュール

|         |                                               |
|---------|-----------------------------------------------|
| 6月5日（金） |                                               |
| 13:00   | 自己紹介・アイスブレイク                                  |
| 13:05   | 個人ワーク/グループワーク：自分の指導を振り返る                      |
| 13:30   | レクチャー：Educational Alliance                    |
| 13:40   | グループワーク/全体発表：Educational Alliance のレンズで振り返る   |
| 14:20   | 個人ワーク：うまくいかなかったケースを振り返る                       |
| 14:25   | レクチャー：指導医の信頼                                  |
| 14:35   | グループワーク/全体発表：Educational Alliance のレンズで改善点を探索 |
| 15:35   | レクチャー：Educational Alliance における最近の知見          |
| 15:50   | まとめ/質疑応答                                      |